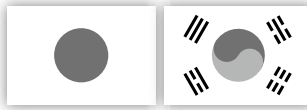
# 野球愛は日韓をつなぐ

日本人が韓国紙に書いた取材コラム



室井昌也

論創社

# はじめに

韓国の大手スポーツ紙「スポーツ朝鮮」で２００６年３月にスタートし、現在も続いているコラム「室井の近くて遠い韓日野球」（通称「室井コラム」）。その11年間、約５００本の連載の中から97本を今回１冊の本にまとめました。

開始当初は日本と韓国の球界の違いを韓国の読者に説明することを主体としたコラムでしたが、途中から筆者が日韓の現場取材の中で見聞きしたことを、筆者目線でお伝えするように変わっていきました。この本では取材成果を記すことを主とした、２００８年以降のコラムを中心に掲載しています。また時を同じくして、韓国で活動する日本人選手、コーチと日本でプレーする韓国人選手が増えたことから、彼らを取材した内容が多いのが特徴です。

新聞紙面では筆者自らが記した韓国語で掲載されていますが、この書籍は日本語での出版ということで表現や構成を日本人が理解しやすいように一部加筆、修正、または要約しました。また本書では読者が内容をよりイメージしやすいように、写真を数多く掲載しています。写真はすべて筆者が撮影したものです。

日本人である筆者が自らの韓国語で、韓国の大手紙でコラムを連載し続けることは異例ということで、スポーツ朝鮮からは２０１２年４月に連載３００回を記念して功労賞が授与されました。

日本にはなかなか伝わってこない韓国の球界事情や、世間ではあまり知られていない日韓球界の深いつながり。それらをこの本には多数掲載しました。この本をきっかけに野球を通しての日本と韓国の相互理解がさらに深まれば幸いです。

室井 昌也

※本文中の肩書、所属先、年齢などはコラム掲載時のものです。

# 『野球愛は日韓をつなぐ』

日本人が韓国紙に書いた取材コラム

はじめに……P2

## 韓国に渡った日本の野球人 1

42歳高津の終わらない向上心……P10
門倉を開幕7連勝に導いた野手の支え……P12
門倉健、初めてのオールスター戦……P14
LG入り岡本真也、紆余曲折の野球人生……P16
クローザー・岡本真也に欠かせない武器……P18
LG・岡本真也、抑え投手の喜び……P20
岡本と門倉それぞれの秋……P22
門倉、クラブチームでの再出発……P24
2009年韓国Sの再現となった、門倉の都市対抗……P26
門倉、母校のマウンドで最後の投球……P28
元ロッテ・小林亮寛、KBOのマウンド目指す……P30

## 日本にやってきた韓国人たち 1

イ・デホ、いよいよ本領発揮……P34
イ・デホ、笑顔なき同点弾……P36
打って、走って。前半戦のイ・デホを振り返る……P38
果たしてイ・デホはチャンスに弱いのか……P40
信頼を再確認した、オ・スンファンの入団会見……P42
オ・スンファン、体重と球速の関係は？……P44
オ・スンファン「日本では100%の状態で投げたことがない」……P46

イ・デウンが得た、チャンスと課題 …… P48

## 国際大会　対決の裏側

WBCに向けた日韓の適応力の差 …… P52
感情的な争いなき日韓戦 …… P54
WBC東京ラウンド、話題の「魔球」は？ …… P56
日韓戦のキーワードは「内角球」 …… P58
日本打線を韓国の打者に置き換えると？ …… P60
イチローが放ったWBC韓国戦での14安打 …… P62
アジアシリーズ、忘れていた謙虚さ …… P64
サムソンはアジアSで内川とどう対峙するか …… P66
アジアSの必要性と野球国際化の未来 …… P68
プレミア12、野球国際化への改革案 …… P70
世界大学野球、注目の4年生たち …… P72
18U大会、大谷、藤浪を擁する日本の実力は？ …… P74

## 日韓それぞれの球界事情

日本は軟球、韓国は硬球。それぞれの草野球事情 …… P78
八百長問題で人気低下？　という誤解 …… P80
韓国のチケット購入、外国人には高い壁 …… P82
先輩・後輩に見る日韓の違い …… P84
韓国の野球トト、日本の手本になるか …… P86
日本の球団が狙う、来季の助っ人は？ …… P88
韓国スタイルのファンサービス、日本での導入は？ …… P90
日本の球団が、韓国のマーケティング戦略から得るもの …… P92
日本側から見る日韓の野球中継の違い …… P94

日本の野球中継、韓国が変革のきっかけになるか……P96
コチョクドームのアクセスと規模に問題なし……P98
コチョクドームと野球の観光商品化の関係……P100
日韓16球団集結の沖縄、経済効果は？……P102

## プレー 戦術の背景

「引き分け＝負け」を、記録の専門家と考える……P106
制球力向上に必要なブルペンでの心得……P108
シュート？ ツーシーム？ 奥深い変化球の世界……P110
外野手のグラブに秘密あり……P112
日本の開幕投手へのこだわり……P114
サムソン、代走が盗塁しなければサヨナラ勝ちした？……P116
カウント3ボール0ストライクでの判断は？……P118
韓国に「代打の神様」は現れるか……P120
捕手を見ないで投げる投手たち……P122
「ミロチギ」に含まれる意味……P124

## 韓国に渡った日本の野球人 2

KIA・松原誠打撃インストラクターの感慨……P128
韓国を知る楽天コーチが語る、日韓の違い……P130
韓国で9年目を迎えた花増トレーニングコーチ……P132
伊東勤ヘッドが語る、捕手ヤン・ウィジの長短所……P134
チェ・ジェフンの成長支える、伊東、小牧両コーチ……P136
日本人コーチ招へいで問われる人選力……P138
日本出身コーチが振り返る前半戦……P140

トゥサン・石山新監督の「おっちゃんリーダーシップ」……P142
日本復帰、芹澤コーチの5年間……P144

## 日本にやってきた韓国人たち 2

イ・ボムホを気遣うムネリン……P148
神宮球場「韓流デー」大盛況……P150
キム・テギュンが振り返る交流戦……P152
イム・チャンヨン、負けず嫌いが挙げた通算100セーブ……P154
通訳と家族の絆で結ばれるイム・チャンヨン……P156
昇格厳しいイム・チャンヨンが見せた意外な姿……P158
チョ・ウォンウ、充実の千葉ロッテコーチ研修……P160
パク・ソクチンコーチが語るイ・ヘチョン。そして日韓の違い……P162
キム・ビョンヒョン、一軍昇格準備完了……P164
チョ・ソンミン、あの日がなければ……P166

## 韓国リーグの男たち

スター選手が日本人観光客にだけ見せた「ミラクルプレー」……P170
ジャーニーマン、チェ・イクソンの新しい旅……P172
エース中のエース、ペ・ヨンス……P174
「代走屋」カン・ミョングの短期決戦での存在感……P176
21U大会で注目、KIAイム・ギジュンへの期待……P178
軍から復帰したク・ジャウクの必死さ……P180
キム・ソングン監督と共通点のある「日本の3監督」……P182
韓国のベテラン打者はなぜ活躍するのか……P184
イ・スンヨプが歩む王、野村と同じ道、違う点……P186

## つながる。日本と韓国


笘篠・初芝、よみがえったチャムシルの記憶 …… P190
ヤン・ヒョンジョンを日本で見守る神部元コーチ …… P192
オ・スンファンを見に？　チャムシルを訪れた日本球界関係者たち …… P194
バレンティン、イム・チャンヨンを発掘した人の目 …… P196
機会を待ち、真摯に取り組むバンデンハーク …… P198
外国人枠拡大。日本人選手の韓国入りの可能性は？ …… P200
巨人・福元がキム・ギテ監督に伝えたいこと …… P202
G育成出身、キム・ギテの教え子たちが活躍 …… P204
ソフトバンク三軍、韓国二軍リーグ参加へ …… P206
関西独立リーグ新球団発足に奔走する元選手 …… P208
高知県「監督去っても、キャンプに来て」 …… P210
LGファンモク・チスンを日本で応援する人たち …… P212
LG4位指名、チョン・ギュシクと阪神金田の友情 …… P214
八百長選手に激励のメッセージ …… P216
早過ぎる別れ。ネクセン球団広報、イ・ファス氏 …… P218

付録
韓国野球の歴史 …… P222
韓国プロ野球NPB出身選手成績一覧 …… P226
NPBでプレーした韓国人選手一覧 …… P228
韓国プロ野球本拠地マップ …… P229
韓国プロ野球球団紹介 …… P230

おわりに …… P238


**本文中のチーム表記**

| | | | |
|---|---|---|---|
| トゥサン ベアーズ | =トゥサン | ハンファ イーグルス | =ハンファ |
| サムソン ライオンズ | =サムソン | KIA タイガース | =KIA |
| NC ダイノス | =NC | ロッテ ジャイアンツ | =ロッテ |
| ネクセン ヒーローズ | =ネクセン | LG ツインズ | =LG |
| SK ワイバーンズ | =SK | kt ウィズ | =kt |

2011年6月7日

# 42歳高津の終わらない向上心

「韓国でまたやりたいなぁ」。

明るくそう話したのは2008年にヒーローズ（現・ネクセン）に所属し、抑え投手として活躍した高津臣吾（42歳）だ。高津はその年途中の6月に韓国球界入り。チームの不振により登板機会は18試合にとどまったが、1勝0敗8セーブ、防御率0・86という好成績を残した。しかしヒーローズでの再契約には至らず、翌年メジャー復帰を目指して再渡米。そして2010年からは活動の場を台湾に移した。

台湾で高津は40試合に登板し1勝2敗26セーブ、防御率1・88で興農の前期優勝に貢献。戦力面を考えればチーム残留が濃厚だったが、高津は球団から予想外の通達を受けた。「外国人選手を雇うお金がないので、来季は契約できないと言われました。しかも台湾は契約解除になると、引き抜き防止のルールがあって2年間他の球団に移れないんです」。高津は結果を残しながらも台湾を後にした。

日本、アメリカ、韓国、台湾でプレーし通算347セーブを挙げた高津。世界を股に掛けたクローザーは今、日本の独立リーグの1つ、BCリーグの新潟アルビレックスに所属している。

「このリーグのレベルは日本のプロ野球の二軍ぐらいです。上から日本（NPB）、韓国（KBO）、台湾（CPBL）の順。その下に日本の二軍があって、そしてBCリーグです」。

高津は今シーズンBCリーグで12試合に登板し7セーブ。12イニングを投げ、これまで相手に得点を与えていない。BCリーグの実力が日本の二軍クラスとは言え、同リーグに所属するすべての元プロ野球選手が良い成績を残しているわけではない。そんな中で高津はどこに行っても、いくつになっても自分のスタイルを変えずに結果を残している。

「年齢を感じることはよくあります。20代とは言わないまでも30代の肉体がうらやましい。特に下半身が弱くなっています」。

自身の弱みについて隠さず話す高津。しかしそれを克服する術を高津は持っている。「ランニングの量を増やせば、球速が3キロは上がると思います。これから気候が良くなりますから」。

夏場に向け下半身の強化を目指した高津。しかし5月22日の信濃グランセローズ戦で打球が左足に直撃するアクシデントに見舞われた。「強烈に痛かった。でもマウンドを降りるわけにはいかないからそのまま投げました。トレーニングのペースが落ちたのが少し残念です」。高津に立ち止まるという思考はなかった。

2008年ヒーローズ入団当時の高津（写真中央）

6月5日の群馬ダイヤモンドペガサス戦。7対6、新潟が1点リードで迎えた8回、高津はいつものようにベンチを出てブルペンへと向かった。観客たちは変わることのないサイドスローを一目見ようと、フェンスにへばりつきその時を待った。

9回裏、その名がコールされる。「ピッチャー高津」。その言葉は英語、韓国語、中国語と変われど、帽子を目深にかぶりマウンドに歩を進める姿に変化はない。マウンドに上がった高津はクリーンアップからの打線に対し、持ち球のシンカーを低めに丁寧に集めた。そして、変化球を待つ打者の裏をかき、打者の胸元、そしてコーナーいっぱいにストレートを投じる。その球速は韓国での3年前と見劣りしなかった。

「韓国の野球は真剣勝負ができて楽しかった。球団の数が増えるのはいつですか？　それまで現役でいられるかな」。高津の向上心に終わりはない。

## …それから…

高津は翌２０１２年、新潟の選手兼監督に就任。同年限りで引退し、韓国球界に復帰することはなかった。その後、野球解説者を経て２０１４年から古巣・東京ヤクルトの投手コーチに就任。２０１５年にセ・リーグ優勝を果たしている。

室井 昌也
（むろい・まさや）

1972年東京生まれ、日本大学芸術学部演劇学科中退。
2002年から韓国プロ野球の取材を行う「韓国プロ野球の伝え手」。編著書「韓国プロ野球観戦ガイド＆選手名鑑」（小学館スクウェア、論創社）を2004年から毎年発行し、取材成果や韓国球界とのつながりは日本の放送局などのメディアやNPB各球団でも反映されている。韓国では現地スポーツ紙「スポーツ朝鮮」で韓国語のコラムを2006年から連載している。2016年7月からは日本初の韓国プロ野球情報を伝えるラジオコーナー「室井昌也の韓国野球を観に行こう！」（ラジオ日本）がスタートした。有限会社ストライク・ゾーン取締役社長。
http://www.strike-zone.jp/

# 野球愛は日韓をつなぐ

## 日本人が韓国紙に書いた取材コラム

2016年11月30日　初版第一刷印刷
2016年12月10日　初版第一刷発行

編著者：室井昌也

発行所：論創社
東京都千代田区神田神保町2-23 北井ビル
TEL 03-3264-5254
http://www.ronso.co.jp/

装丁・デザイン：田中宏幸（田中図案室）
印刷・製本：中央精版印刷

落丁・乱丁本はお取り替え致します。

©Masaya Muroi 2016
Printed in Japan　ISBN 978-4-8460-1583-1

本書の一部あるいは全部を無断で複写（コピー）・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利の侵害となります。あらかじめ承諾を求めてください。